

2015 年 12 月 5 日

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社  
LINE 株式会社

## LINE 株式会社とスターバックス コーヒー ジャパン株式会社による 包括的な業務提携締結について

スターバックス店舗と LINE サービスの融合により、新たなイノベーションを提供

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口 貴文、以下スターバックス)と、LINE 株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:出澤 剛、以下 LINE)は、デジタル領域におけるイノベーションの加速化を目的に包括的な業務提携を締結いたしましたので、お知らせいたします。



スターバックスは、ブランドプロミスである「Moments of Connection-つながりの瞬間-」を大切にしております。2017 年 9 月に導入したロイヤリティプログラム「STARBUCKS REWARDS™(スターバックス リワード™)」は、現在会員数は 250 万人以上となり、お客様に自分に合った体験を発見する機会を提供し、ブランドとのつながりをより深いものにしております。スターバックスは、デジタル領域においてもイノベーションをリードしつづけ、より多くのお客様の満足度・利便性をはじめとした顧客体験の価値向上を進め、お客様とのつながりを醸成していきます。

LINE は、「CLOSING THE DISTANCE」をコーポレートミッションとして掲げ、コミュニケーションアプリ「LINE」を入り口として、人や情報・サービス、企業・ブランドとシームレスに繋がり、すべてが完結するスマートポータル戦略を推進しています。ニュースやマンガ、ゲームなどのコンテンツプラットフォームと、決済、ショッピングなどのライフプラットフォームの二軸において様々な取り組みを展開、月間利用者 7,800 万人を超えるユーザーに付加価値の高いサービスを提供しております。とくに、全世界で 4,000 万人(国内 3,000 万人)が登録している「LINE Pay」をはじめとする Fintech 事業領域においては、これまでに培ってきた高いレベルのセキュリティに加え、ユーザーにとってより身近で革新的な金融サービスとしてご利用いただいております。

そして、このたびの包括的な業務提携により、すべての人がより身近に、そして、人々の心を豊かで活力あるものにするような世界を創出することを目指します。

スターバックスでは、現在 4 人に 1 人以上のお客様に、スターバックス カードやスターバックス モバイルアプリを使って、キャッシュレスで支払いいただいております。2019 年上半期には、スターバックスと LINE サービスの融合により、スターバックス カードをはじめとしたデジタルペイメントにおけるイノベーションをお届けいたします。また、これらの具体的な業務提携内容に関しましては、2019 年春に公式に発表させていただく場を設けさせていただく予定です。

### 【予定している施策一例】

#### \*LINE 公式アカウントを開設 ※2019 年春を予定

スターバックスの LINE 公式アカウントを開設予定です。新商品情報をはじめ、LINE アカウントの特性を活かしたスターバックスの魅力が詰まったコンテンツを提供いたします。

#### \*スターバックス店舗への「LINE Pay 据置端末」の導入 ※2018 年中に一部店舗から順次導入

店頭に設置し電源を ON にするだけですぐに「LINE Pay」の QR コード決済に対応できる決済端末の導入を予定しております。店舗に訪れるお客様へ、スムーズに商品を提供できる環境を目指します。

■スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <http://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1995 年 10 月に、スターバックス コーヒー インターナショナル社（米国スターバックス社の国際事業部門を担う子会社）と株式会社サザビー（現 株式会社サザビーリーグ）の合併会社として設立され、1996 年に東京・銀座に日本第 1 号店を出店。2015 年にスターバックス・コーポレーションの完全子会社となりました。2018 年 9 月末時点で全国 47 都道府県において 1392 店舗（ライセンス店舗を含む）を展開しております。

■LINE 株式会社 <https://linecorp.com/>

LINE 株式会社は、コミュニケーションアプリ「LINE」を機軸として、コミュニケーション・コンテンツ・エンターテイメントなどモバイルに特化した各種サービスの開発・運営・広告事業に加え、Fintech 事業、AI 事業を展開しています。ミッションに「CLOSING THE DISTANCE」を掲げ、世界中の人と人、人と情報・サービスとの距離を縮めることを目指しています。